

グローバル化時代の日本語教育・日本事情教育 理論と実践

言語学習環境論 生きた鳥を野に放つ教育理念
総合活動型日本語教育とは何か

細川 英雄*

要旨: 日本語教育におけることばと文化の統合という観点から、コミュニケーション活動能力育成の視点を提案し、この活動が最終的には、個人における「他者性」の認識をもとにした「個の文化」の確立をめざすものであることを指摘する。その過程で、社会情報知識としての「日本事情」の問題点に言及した上で、総合活動型日本語教育の課題へと向かう道筋のための具体的な実践例とその教育理念を提示する。

1 日本語教育におけることばと文化の統合へ向けて

1-1 ことばとコミュニケーション

ことばは何のためにあるか

- ・コミュニケーション(言語の伝達・受容) わかりあえること
- ・思考(考えていること)

何のためにコミュニケーション活動を行うのか

- ・社会の中での自己実現のための表現手段

1-2 「社会」をめぐるさまざまな固定的イメージ

例: 家族 > 地域 > 学校 > 会社 > 民族 > 国家 > 地球

固定的な社会と流動的な社会 個のネットワークとしての社会

さまざまな「社会」を背負う「個人」

1-3 「文化」をどのように捉えるか

- ・文化(価値を伴わない) 文化相対主義(人間の生活するところすべてに「文化」がある)
 - ・文化 (価値を伴う) 文化本質主義(文化の価値を本質的なものとみなす)
- では、「文化」の境界はどこにあるのか / 「文化」の内実とは何か

2 総合活動型言語教育の位置づけ 言語文化能力は「私」の体験として育成される

2-1 「異文化」という名のステレオタイプ

* URL : <http://faculty.web.waseda.ac.jp/hosokawa/>

例：日本人は親切である(+) / 日本人はいじわるである(+)
集団の類型化とステレオタイプ(ST) 一人一人の個人が見えなくなる
STの原型： さんは、親切/いじわるだ。 <認識によるレッテル貼りの宿命からは逃げられない>
ST脱却の方法： 集団類型化への自覚 1対1対応のコミュニケーションの重要性 人と人との信頼 自らの責任と立場の形成

2-2 自分の「考えていること」を表現させる学習

初級 学習の方向 上級
言 語(語彙・文法)

日常生活(自分の考えていることを表現する)

文 化(文学・歴史・経済...)

- ・「ある一定の内容や構造を教授」から「学習者自身の 考えていること をどのように引き出すか」へ
例： 教材中心読解型から自己発信表現型へ
- ・学習者が主体的に表現するためには何が必要か？
聞・話・読・書という四つの形態に支えられた総合活動型コミュニケーション活動
常に当面の具体的な対象と目標を前提にして機能 達成感のある言語活動を期待
- ・バーチャル・リアリティ(仮想現実)の言語学習から、学習者自身の明確な意思を発信する言語学習へ
学習者一人一人の「個の表現」を保証する試み

2-3 総合活動型言語教育としての問題発見解決学習 例：「レポートを書く」

「私」をくぐらせたテーマ設定
ステレオタイプの剥ぎ取り
インタビュー・原稿の推敲・クラス内ディスカッション・相互評価
インターアクションと自己相対化
動機と結論の一貫性による他者説得の論理獲得
思考と表現の往還による言語活動の活性化

2-4 問題発見解決学習の内容・方法・考え方

1. 総合活動型日本語教育にはルール・ブックがない
2. 総合型活動学習の陥りやすい問題点
3. 総合的な活動の 4. 中身・5. 内容・6. 型・7. 方法・8. 方法論・9. 考え方 の確立
10. 合意形成としての評価

4 言語学習とは何か

4-1 言語教育は何をめざすか

- ・コミュニケーションによる思考(こころ)と言語(かたち)の往還
- ・文化の境界を個に引き戻し、他者との関係を見なおす作業

集団類型的「文化」観を超える

問題を個にひきつける

対象と自分との関係を語る

他者への説得としての自分の立場の確立

他者との共生 響きあう関係世界の創造

- ・言語都市環境設計者としての日本語教師
- ・世界中のどんな社会でも暮らすことのできる「強固で柔軟なアイデンティティ」へ

4-2 実践から研究へ、研究から実践へ

既成の研究を実践に応用するのではなく、自らの実践の中から固有の研究を生み出す。

その研究を軸にさらに新しい実践へと展開する。

オリジナリティのある実践(自分にしかできない教育 / 自分にしかできない研究)

4-3 「日本語教育」とは「教育学」の一分野である

教育学	教育哲学		
	社会教育学		
	言語教育学	日本語教育学	母語
			第2言語

関連文献

- 細川英雄 『日本語教育と日本事情 異文化を超えて』(明石書店、1999・10)
- 細川英雄 『日本語教育は何をめざすか 言語文化活動の理論と実践』(明石書店、2002・1)
- 細川英雄 『「総合」の考え方と方法』(早稲田大学日本語研究教育センター、2002・3)
- 吉田研作 『外国人とわかりあう英語 異文化の壁を超えて』(筑摩書房、1995)

